



発行者
清川村立緑中学校
清川村煤ヶ谷1933
046-288-1241

令和4年12月号

緑中の新しい代表 生徒会本部役員

11月2日(水)に新しい生徒会の体制がスタートしました。生徒会長の石橋さんからは、「笑顔のあふれる、あいさつがしっかりできる緑中学校を作っていきましょう。」という言葉が全校生徒に伝えられました。これから3年生は、自分の進路実現に向かっていきます。生徒会本部役員を中心に、1・2年生の力で、素敵な学校を作っていきましょう。



多様な文化を理解しよう 国際理解教室

11月2日(水)に国際理解教室を行い、中国とベトナムから2人の留学生を招いてお話を伺い、1年生は、それぞれの国の文化について学びました。食べ物や都市の建造物、その国の文化についての話や、好きな日本のアニメなどの会話により、共通の笑いが起こる場面もありました。一人ひとりが、興味を持ち、楽しそうにコミュニケーションをとりながら、交流ができました。気候問題や食料問題など、地球全体のことをみんなで考えていく時代に、貴重な学びの機会となりました。



体験し、理解し、考える 人権福祉体験学習

11月15日(火)道徳の授業では、村社会福祉協議会の協力のもと、人権福祉体験学習を行いました。1年生は「視覚障害者の体験」、2年生は「車いす体験」、3年生は「高齢者の体験」をし、他人を思いやる心を育てています。



平和を願う気持ち 広島恒久平和学習報告会

11月11日(金)に広島恒久平和学習の報告会を行いました。代表生徒4名が、2日間、広島の平和記念公園、原爆ドーム、広島平和記念資料館などを見学して感じたことを、自分たちの言葉で伝えました。

現地で見聞きし考えた生徒の真剣な発表により、全員で平和について考える機会となりました。平和を願う気持ちを大切にしてほしいと思います。



未来へ向けた準備 職場体験学習

11月9日(水)・10日(木)の2日間、2年生は職場体験学習を行いました。村内の事業所にご協力を頂き、様々な職種の仕事を経験させていただきました。体験中は、緊張した表情を見せていましたが、終えたときには充実感と達成感に満ち溢れた表情をしている生徒が多くいました。ご協力くださった地域の皆様、ありがとうございました。

【生徒の感想】

- ・幼稚園での職場体験を通して、先生方が園児への対応の際、常に笑顔を絶やさず全園児に目を配っているのがとても印象的で、人との関わりには「笑顔」が大切だと学びました。
- ・小学校の職場体験を通して、全てに手を差し伸べるのではなく、児童ができるように「見守ること、待つこと」の大切さを学びました。



未来へ向けた準備 職業講話

10月28日(金)、1・2年生は職業講話に臨みました。清川村役場の遠藤さんからは、「人とのコミュニケーションを大切に」という話がありました。COENの青木さんからは、「人との縁を大切に」という話がありました。林写真商会の小山さんからは、「自分の好きなこと、得意なことを大切に」という話がありました。

生徒からのたくさんの質問に、講師から回答していただき、働くことの意味を考える有意義な時間になりました。講師の方々、忙しい中、講演ありがとうございました。



相手を尊重し伝統的な行動の仕方を学ぶ 剣道

11月は、保健体育の授業に、地域の指導者として廣岡先生をお招きして、剣道の授業を行いました。武道を通して、相手を思いやることや、人が成長するためには他者が必要であり、共に歩もうとすることが大切だということなど、心の成長に繋がる言葉がたくさん語りかけられました。その一語一語にこころを響かせるように、生徒たちの真剣な声が体育館中に響きました。



成長に繋がる機会 部活動新人戦大会

11月6日(日)にはバスケ部が、11月12日(土)にはバレー部が、県央ブロック(厚愛、綾瀬、海老名、座間、大和)の新人戦に参加しました。県大会には進めませんでしたが、最後まであきらめずにボールを追いつけ、今後の成長に繋がる大会となりました。

